

優秀賞

# 一日おくれの林間学校

埼玉県 伊奈町立南小学校五年 中川 結愛

私は五年生になって林間学校に行くことを、とても楽しみにしていました。でも私は、林間学校の前々日に熱を出してしまい、前日の夜にも下がらず、当日の朝になってもび熱があり、休むことになってしまいました。私はたくさん泣いてしまいました。そんな私を見て、お母さんもなみだ目でした。私がつつと林間学校を楽しみにしていたのを、一番知っていたので、お母さんもつらかったのだと思います。お母さんが先生に休むという電話をしている時も、私はずっと悲しくて、くやしくて泣いていました。先生とお母さんの話で、元氣になればと中からでもみんなと合流しても良いということになり、私は「絶対熱を下げてやる!!」と思いました。

薬を飲んでねていたら、だんだん熱が下がっていききました。「今ごろ、みんなは山登りしているかな」「やっぱり今すぐにも行きたいな」と思っています。

した。平熱まで下がり、このまま朝まで熱が上がらなければ、一日おくれで二日目の中から合流しようということになりました。私は「やったー!!林間行ける!!」という、うれしい気持ちでいっぱいでした。朝になっても熱は上がらず、行けることになりました。

三時間半、お父さんが運転してくれ、無事にしが高原につきました。うれしい気持ちもあったけど、みんなの中に入れるか、不安な気持ちときんちようもありました。とうとうホテルの中に入ると、先生たちが笑顔でむかえてくれました。とてもうれしかったです。

家族と別れるとき、運転してくれたお父さん、準備してくれたお母さん、ずっとついてきてくれた弟にしっかりありがとうが言えませんでした。ここまで来れたのは家族のおかげなので、ちゃんとおありが

どうを言えば良かったな…と思いました。友達と会うと、

「あ!!来られたの!?よかったー!!」

「来られてよかったねー!!!」

とみんながかんげいしてくれました。それと同時にさっきまでのきんちようしていた心がほぐれていくのを感じました。みんなが

「ここはトイレ。四階は食堂だよ。」

と親切に教えてくれて、とてもありがたく思いました。その後は夜になっても体調は悪くならず、天気は雨になってしまいましたが、友達と楽しく過ごせて、たくさんさんの思い出が作れました。帰り道ではお礼を言えなかった家族におみやげを買い、帰校しました。色々あったけど、と中からでも行けて良かったです。一日おくれの参加になってしまったけど、そのことで家族、先生、友達のやさしさに気づきました。友達とも、やさしくすると、やさしくされた方の心があたたかくなり、絆が深まると思いました。私はクラスの友達のやさしさのおかげで、おくれで行ったけど、最高の思い出になりました。私のことをたくさん心配してくれた周りの方々に感謝の気持ちでいっぱい的林間学校でした。

